

特定非営利活動法人
公共デザインイニシアティブ
第18期 通常総会 資料

開催年月日 2024年6月24日（月）
開催場所 Zoomによるオンライン開催

特定非営利活動法人公共デザインイニシアティブ
第18期通常総会

次第

開催年月日 2024年6月24日（月）

開催場所 Zoomによるオンライン開催

- 1 開会
- 2 出席者報告
- 3 議長選出
- 4 議事録署名人の指名
- 5 議事
 - 5.1 第1号議案 第18期事業報告、並びに活動決算報告に関する件
 - 5.1.1 第18期事業報告
 - 5.1.2 第18期決算報告
 - 5.1.3 監査報告
 - 5.2 第2号議案 第19期事業計画（案）並びに活動予算（案）に関する件
 - 5.2.1 第19期事業計画
 - 5.2.2 第19期収支予算
 - 5.3 第3号議案 役員選任に関する件
- 6 閉会
- 7 その他
 - 7.1 事務所の移転について
 - 7.2 社員数の欠員について
 - 7.3 定款の内容について

参考資料

- ・ 役員名簿（第18期）
- ・ 社員名簿

第1号議案 第18期事業報告並びに活動決算報告に関する件

第18期事業報告 期間/2023年4月1日～2024年3月31日

事業の成果

第18期は、鹿児島県庁から受託したデータ活用講座、佐賀プログラミングアワード（佐賀新聞プランニング主催）、17期までの事業、佐賀駅バスセンターサイン再編に伴う保守運用が主な取組事業となった。当法人のプロジェクトと位置づけているCode for Sagaは、例年通りアーバンデータチャレンジやオープンデータデイには取り組んだが、活発に活動できたとは言い難い状況だった。新規の取組は特に実施していない。

事業の実施に関する事項

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実 施日時 (B)当該事業の実 施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の 範囲 (E)人数	事業費の金額（単 位：千円）
研究開発事業	佐賀駅バスセンターサイン 保守運営事業（2022年度 施工分/佐賀市交通政策 課）	(A)2023年4月～ 24年3月 (B)佐賀駅バスセ ンター (C)3人	(D)佐賀県民、来 街者等 (E)-	670千円
	佐賀駅バスセンターサイン 修正事業（2022年度施工 分/昭和自動車・祐徳自動 車）	(A)2023年4月～ 24年3月 (B)佐賀駅バスセ ンター (C)3人	(D)佐賀市民、来 街者等 (E)-	226千円
	SAGAスマート街なかプロ ジェクト（佐賀市経済部）	(A)2023.4~24.3 (B)佐賀市 (C)-	(D)佐賀市民、来 街者等 (E)-	997千円
調査事業	該当事業なし			
普及啓発事業	さがプログラミングアワー ド（佐賀新聞プランニ ング）	(A)2023.8~12 (B)佐賀市 (C)8人	(D)県内小学生 (E)40名	847千円

	鹿児島県データ利活用基礎講座	(A)2023.7~24.2 (B)鹿児島市 (C)2人	(D)鹿児島県内自治体職員 (E)100名	3,208千円
	九州テレコム振興センターの活動に参加（会員）	(A)- (B)- (C)-	(D)- (E)-	20千円
人材育成事業	(対象事業なし)			
情報発信事業	(対象事業なし)			

活動一覧（2023年4月1日～2024年3月31日）

（一社）九州テレコム振興センター（KIAI）通常総会

日時 5月31日（水）13:00～

場所 熊本

内容 牛島が参加

第16期NPO法人公共デザインイニシアティブ理事会及び通常総会

日時 6月22日（木）17:00～理事会、18:00～通常総会

場所 ローカルメディアラボ

アーバンデータチャレンジ2023キックオフシンポジウム

日時 7月14日（金）13:30～

場所 東京大学

内容 UDC2023の概要説明、基調講演、地域拠点紹介など

佐賀プログラミングアワード体験教室

日時 7月23日（日）9:00～

場所 佐賀新聞社

内容 プログラミングアワードイベント。プログラミングに親しむ講座を企画、運営。

佐賀プログラミングアワード作品制作会

日時 8月11日（金）9:00～

場所 佐賀新聞社

内容 プログラミングアワードの作品制作ワークショップ

鹿児島県データリテラシー研修

日時 8月17日（木）9:30～、13:30～

場所 オンライン

九州デジタル推進ワーキンググループ

日時 10月2日（月）13:30～

場所 熊本

内容 九州テレコム振興センターによる定例WG。総合通信局、経済産業局などからの情報共有、各社事例紹介など

佐賀プログラミングアワード

日時 11月4日（土）13:00～

場所 佐賀新聞社

内容 作品制作の本選に向けた説明会。牛島が講演。

鹿児島県データ利活用研修（第1回）

日時 11月6日（月）13:30～

場所 鹿児島市

コード・フォー・ジャパン合宿に参加

日時 11月17日（金）10:00～

場所 鹿児島県肝付町

内容 コードフォージャパンメンバーとの交流及びワークショップ

コード・フォー・ジャパンサミット

日時 11月25日（土）13:00～

場所 BASEQ（東京都）

内容 Code for Sagaとして参加。Brigade Meetupワークショップを企画運営

鹿児島県データ利活用研修（第2回）

日時 11月27日（月）13:30～

場所 鹿児島市

佐賀プログラミングアワード本選

日時 12月2日（土） 9:00～

場所 メートプラザ

鹿児島県データ利活用研修（第3回）

日時 12月18日（月） 13:30～

場所 鹿児島市

国際オープンデータデー2024 in 佐賀

日時 3月7日（木） 18:30～

場所 ローカルメディアラボ

内容 オープンデータに関する情報交換（井戸端会議）

● 第18期決算報告

令和5年度 財産目録

令和6年3月31日現在

特定非営利活動法人公共デザインイニシアティブ

(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1.流動資産		
現金預金		
現金	65,228	
佐賀銀行普通預金	4,060,739	
未収金		
研究開発事業未収金	922,460	
普及啓発事業未収金	3,236,200	
立替金		
(株)ローカルメディアラボ	125,928	
流動資産合計		8,410,555
資産合計		8,410,555
II 負債の部		
1.流動負債		
未払金		
研究開発事業未払金	652,392	
普及啓発事業未払金	3,931,960	
事務所経費未払金	5,750	
預り金		
源泉所得税	6,126	
未払法人税等	100,700	
流動負債合計		4,696,928
負債合計		4,696,928
正味財産		3,713,627

令和5年度 貸借対照表

令和6年3月31日現在

特定非営利活動法人公共デザインイニシアティブ
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	4,125,967		
未収金	4,158,660		
立替金	125,928		
流動資産合計		8,410,555	
資産合計			8,410,555
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	4,590,102		
預り金	6,126		
未払法人税等	100,700		
流動負債合計		4,696,928	
負債合計			4,696,928
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		3,724,334	
当期正味財産増減額		△ 10,707	
正味財産合計			3,713,627
負債及び正味財産合計			8,410,555

令和5年度 活動計算書
 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで
 特定非営利活動法人公共デザインイニシアティブ
 (単位：円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 事業収益			
研究開発事業	1,972,060		
普及啓発事業	4,116,200	6,088,260	
2. その他収益			
正会員受取会費	5,000		
受取利息	32	5,032	
経常収益計			6,093,292
II 経常費用			
1. 事業費			
委託費	5,342,562		
旅費交通費	101,270		
通信運搬費	105,817		
消耗品費	5,976		
支払手数料	394,394		
雑費	31,560		
事業費計	5,981,579		
事業費計		5,981,579	
2. 管理費			
諸会費	20,000		
租税公課	1,720		
管理費計	21,720		
管理費計		21,720	
経常費用計			6,003,299
当期経常増減額			89,993
税引前当期正味財産増減額			89,993
法人税、住民税及び事業税			100,700
当期正味財産増減額			△ 10,707
前期繰越正味財産額			3,724,334
次期繰越正味財産額			3,713,627

計算書類の注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

監査報告書

私は、2023年4月1日から2024年3月31日までの、第18期事業年度の財産目録、貸借対照表、収支計算書に関する議案及び付属明細書を監査した結果、適法かつ正確であることを認めます。

2024年6月20日

特定非営利活動法人
公共デザインイニシアティブ
監事 徳永 美紗



第2号議案 第19期事業計画並びに活動予算に関する件

- 第19期事業計画 期間/2024年4月1日～2025年3月31日

事業計画

第19期は、当法人の今後の方向性を見据え活動していく。特に、Code for Sagaとしての活動がコロナ禍以降停滞していることもあり、再度シビックテックによる新しい公共のあり方、及びそれを担う仕組み作りを行っていききたい。その起点として、今年度も地域拠点としてエントリーしたアーバンデータチャレンジの取り組みを位置づけたい。今年度は、SAGAスマート街なかプロジェクトのインターンシップに参加してくれた佐賀大学の学生が、活動に参加したいと意思表示してくれたため、学生も巻き込みながらともに活動していく。

一方で、地域のDX人材育成面では、佐賀県政策部から受託した佐賀県内自治体DX担当者の研究会「dx21」、今年度初めての受託となった長崎市データ利活用研修、佐賀新聞が主催するさがプログラミングアワードを中心に取り組んでいく。

活動拠点としては、一般社団法人地域デザイン総合研究所（代表理事：牛島清豪）が借用した、白山テラス（旧佐賀銀行白山支店1F）を活用し、様々なワークショップなどを展開していく。

研究開発事業

デジタル技術を活用した地域活性等に寄与するための情報収集を行う
シビックテック活動を継続し、新しい公共を担う仕組み作りを模索する
佐賀駅バスセンターに導入した機材の保守運用

調査事業

スマートシティ、スーパーシティや、ICT、IoTの地域実装を実現するための手法や要素技術の調査研究を行う。

- ・ スマートシティインスティテュートの賛助会員として、様々なセミナー等への参加
- ・ 総務省や経産省、内閣府などが開催するセミナー等への参加
- ・ コード・フォー・ジャパンのMake our Cityプロジェクトへの参加

普及啓発事業

情報通信技術の地域実装やデジタルデバイド解消、オープンデータ活用の啓発を目的に、様々なワークショップやセミナーを企画し開催する。

- ・ アーバンデータチャレンジ佐賀拠点として、事業企画、運営を行う。産学官民に幅広く参加を呼びかけ、データ利活用による地域課題解決の活動に力を入れていく。

- ・ インターナショナルオープンデータ日の開催
- ・ 関連イベントへの参加派遣を行い、人材育成にも努める。

人材育成事業

- ・ 九州テレコム振興センター（KIAI）各種部会への参加
- ・ 長崎市データ利活用基礎研修事業の企画、運営
- ・ さがプログラミングアワード（佐賀新聞プランニングと共催）

情報発信事業

ウェブサイトやSNSを活用した情報発信の他、ニュースリリースの発行等を行う。

- ・ 公共デザインイニシアティブウェブサイト

<https://www.netcom.gr.jp>

2024年度 活動予算書 2024年4月1日から2025年3月31日まで

特定非営利活動法人公共デザインイニシアティブ

科目	金額 (単位: 円)		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	5,000		
2. 受取寄付金			
受取寄付金			
3. 事業収益			
人材育成事業	5,150,000		
情報発信事業			
研究開発事業	740,000		
調査事業			
普及啓発事業	880,000	6,775,000	
4. その他収益			
受取利息	20	20	
雑収益	210,000		
経常収益計			6,775,020
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当			
法定福利費			
福利厚生費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
委託費	5,000,000		
会議費			
旅費交通費	350,000		
通信運搬費			
消耗品費	20,000		
諸謝金	100,000		
賃借料			
租税公課			
支払手数料			
雑費			
事業費計	5,470,000		
事業費計		5,470,000	
2 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬			
給料手当			
法定福利費			
退職給付費用			
福利厚生費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
会議費			
旅費交通費			
通信運搬費	30,000		
地代家賃	1,200,000		
諸会費			
租税公課	10,000		
支払手数料	50,000		
雑費	15,020		
管理費計	1,305,020		
管理費計		1,305,020	
経常費用計			6,775,020
当期経常増減額			0
当期正味財産増減額			0
前期繰越正味財産額			3,691,724
次期繰越正味財産額			3,691,724